

**第42回 福岡県少年柔道大会要項**  
(第45回 全国少年柔道大会福岡県代表選考会)

- 1 主催 福岡県柔道協会
- 2 後援 財団法人サニックススポーツ振興財団・株式会社グローバルアリーナ
- 3 日時 令和7年3月9日(日)  
受付 08:00~08:45  
審判会議 09:15  
監督会議 09:40  
開会式 10:00
- 4 会場 福岡武道館  
福岡市中央区大濠1-1-1
- 5 参加資格 (1) 参加する選手は令和7年4月30日時点で、小学5・6年生の男女であること。  
(2) ただし、5年生の補充として4年生は出場できるが、3年生以下の出場は認めない。  
(3) 出場するチームは、全日本柔道連盟に団体登録していること。選手はその団体から登録していること。  
(4) 参加チームの監督またはコーチの何れか1名は、全柔連公認指導者資格を保有していること。  
(5) 選手は、登録してある道場の責任者および保護者の同意を得た者とする。
- 6 チーム編成 (1) チームの編成は道場単位とする。(道場の混成チームは認めない)  
(2) 1チーム人員は、監督1名・コーチ1名・選手5名・補欠2名とする。  
(3) 選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生または4年生とし、学年順に配列する。  
また、同学年内は「体重順」に配列すること。補欠は6年生1名、5年生1名とする。(4年生の補欠は認めない)  
(4) 下学年の選手が上学年の位置に出場することはできるが4年生は次鋒・先鋒に限る。
- 7 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における少年大会特別規定による。  
(2) 試合時間は3分とする。  
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「合技一本」「技あり」「僅差」とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。  
※「僅差」とは双方の選手間に技による評価(技あり)がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。  
(4) チームの勝敗を決める必要がある場合、代表戦は「引き分け」の中から抽選で1組選んで行う。  
(5) 出場選手は所属道場のゼッケンを必ず付ける。女子は、白色Tシャツ、半袖、丸首を着用すること。マーキングについては、規定とおりのものを着用すること。
- 8 試合方法 (1) トーナメント戦とする。  
(2) 3位決定戦は行わない。  
(3) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。  
(4) チームの勝敗の決定方法は、次のとおりとする。  
① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
② 勝ち数が同等場合は、「一本」=「反則勝ち」>「技あり」>「僅差」による。  
③ 内容も同じときは、代表戦は3分間の試合を行い得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。(GSは行わない)
- 9 参加費 エントリー1人につき1,000円 当日受付時に徴収いたします。
- 10 連絡先 福岡県柔道協会少年大会事務局  
810-0052 福岡市中央区大濠1-1-1 TEL 092-714-1558
- 11 参加申込 **★ 令和7年2月19日(水)必着**  
参加申込書を作成の上、郵送とデーターの送信を両方を期限内に行うこと。  
ファックスでの申込は受け付けません。  
**送付先 fu\_pref-tournament@yahoo.co.jp**  
**提出後は、傷害保険加入の為、いかなる理由があっても選手・補欠の変更はできません。**
- 12 全国大会 (1) 優勝チームは、5月4日(日)・5日(月)実施予定の第45回全国少年柔道大会の福岡県代表とする。
- 13 傷害保険 (1) 主催者は参加者全員の傷害保険に加入し費用を負担する。  
(2) 主催者は大会中の不慮の負傷・疾病について応急処置を施すとともに傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。(健康保険証(コピー可)を持参すること)  
(3) 万が一の事故発生に備え参加チームで傷害保険に加入し、万全の事故対策を立てておくこと。
- 14 脳震盪の対応 選手および指導者は下記事項を遵守すること  
(1) 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
(2) 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。  
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)  
(3) 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
(4) 当該選手の指導者は大会事務局および(公財)全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 15 その他 (1) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任者において必ず確認すること。  
感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。  
もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。  
(2) 個人情報、肖像権の取り扱いについて、参加申込書に記載された個人情報は、プログラム、協会ホームページ、新聞で公開されることがある。前記の利用目的以外に利用することはない。参加申込書の提出により取り扱いに関する承諾を得たものとする。大会中に撮影された動画・写真の肖像権は全て主催者側にある。